

暖かくなって  
きましたね!

## 牛白血病の対策をしましょう

牛白血病のうち、牛白血病ウイルス（BLV）により引き起こされる地方病型牛白血病は、近年、国内で発生が増加しています（県内では平成30年度44戸47頭発生（と場発生を含む））。また、と畜場で本病が摘発された場合、全部廃棄となり経済的損害が大きい疾病です。下記に従って対策をしましょう。

### ☑ステップ1：地方病型牛白血病について知りましょう！

- 原因：牛白血病ウイルス（BLV）
- 症状：ほとんどの牛は無症状で経過します。  
しかし、感染牛の約30%が持続性リンパ球増多症（血液中のリンパ球が増えた状態）になり、さらに病態が進むと、感染牛の2～5%が牛白血病を発症し、体表リンパの腫れ、削瘦、元気消失、食欲不振、眼球突出、乳量減少、下痢等様々な症状を示し、予後は不良です。
- 予防治療法：有効な治療法、ワクチンはありません

### ☑ステップ2：感染経路を断って対策を講じましょう！

BLVはリンパ球に感染するため、血液・乳汁を介して感染します。以下の作業を今一度確認してみましょう。

- ① 分娩は感染拡大の一大要因！感染牛の分娩は隔離して行いましょう
- ② 感染牛から生まれた子牛はすぐに母牛から離して飼育しましょう
- ③ 初乳に注意！60℃30分間の加熱または一度凍結しましょう
- ④ 注射針、直検手袋の使い回し禁止！出血を伴う作業は注意しましょう
- ⑤ 吸血昆虫の対策は講じていますか？薬剤・ネット等を活用しましょう
- ⑥ 感染牛群と非感染牛群とで分離飼育しましょう！搾乳等の作業は非感染牛群から！
- ⑦ 導入牛は感染してませんか？非感染を確認してから農場に入れましょう

### ☑ステップ3：家畜保健所を活用しましょう！

家畜保健所でBLVの抗体検査が可能です（¥600/頭）。まずは、自農場の浸潤状況を把握しましょう。詳しくは家畜保健所にご相談ください。

#### 神奈川県県央家畜保健衛生所

〒243-0417 海老名市本郷3658

電話：(046)238-9111 ファクシミリ：(046)238-9124

#### 東部出張所

〒226-0015 横浜市緑区三保町2076

電話：(045)934-2378 ファクシミリ：(045)934-5432

